

## 本庄市の概要

本庄市は、都心から 80 km 圏、埼玉県 の 西北端に位置し、東は深谷市・岡部町、西は上里町、南は美里町・児玉町、北は利根川を隔てて群馬県伊勢崎市に接している。概ね平坦で安定した地盤を有し、市域は東西約 9.5 km、南北約 7.7 km、総面積 36.72 km<sup>2</sup>である。昭和 29 年 7 月 1 日に 1 町 4 か村が合併して市制を施行し、「本庄市」が誕生した。

江戸時代には中山道と利根川を利用した宿場町として栄え、明治時代に入ると生繭の集散地として発展し、製糸工場や織物工場も数多く立地して活況を呈した。近年は首都圏近郊都市として、化学・電子・自動車部品・縫製等を中心に近代工業が盛んである。また、ネギ、ほうれん草、大和芋、レタス等、県内有数の野菜の産地として知られ、ぶどう、梨、いちご等の果樹栽培も盛んで首都圏などに出荷されている。

本庄市内は、JR 高崎線、上越新幹線、関越自動車道本庄児玉インターチェンジや国道 17 号・462 号をはじめとした主要道が縦横に走り、都心と上信越を結ぶ交通の要衝となっている。また、平成 16 年 3 月には上越新幹線「本庄早稲田駅」が開業し、新「坂東大橋」も開通するなど、埼玉県 の 北の玄関として、ますます発展が期待されている。平成 18 年 1 月 10 日には児玉町との合併をひかえているほか、早稲田大学と民間企業との産学連携による研究開発拠点の形成を目指す本庄地方拠点都市地域として「早稲田リサーチパーク」を中心に整備事業を推進している。

平成 17 年 8 月 17 日作成